

◇ 令和元年度 事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

◇ 令和元年度の事業活動実績について報告致します。

1. 総括

令和元年度の事業活動は、下記活動をとおして事業計画どおり地域社会の高度情報化事業を促進することができました。

事業活動は以下の方針に沿って実施しました。

情報化に関する調査・研究・研修・広報活動等の事業を実施し、県民が情報サービスの恵沢を広く享受できる環境づくりや、情報サービス産業の健全な発展を図ることにより高度情報通信ネットワーク社会の形成を推進して地域経済の発展及び公共福祉の増進に寄与する。

各事業活動は、理事会、企画調査室、各部会、事務局がそれぞれの機能を活かし事業を分担しながら実施し、本会会員並びに地域社会に、その活動成果を提供することにより地域経済の発展と公共の福祉に増進することができました。

2. 事業活動報告

下記の事業活動組織（1室・5部会）が中核となり事業活動を実施しました。

（事業活動担当組織名）

- | | |
|-------------|--------------|
| a. 企画調査室 | d. 広報部会 |
| b. 総務福利厚生部会 | e. 教育技術部会 |
| c. 事業企画部会 | f. コンソーシアム部会 |

（1）情報サービスに関する調査及び研究に関する事業

令和元年度は、次の事業を実施しました。

①情報技術研究、調査に関する事業

- A. ANIA(全国地域情報産業団体連合会)が主催する全国大会、総会、賀詞交歓会、理事会、事務局長会議に参加し当協会の事業及び技術研究増進に役立てました。(4月17日、7月11、12日、10月17、18日、11月21日、12月2日、2月6日)

B. 千葉県内大学による卒業論文発表会

毎年県内理系大学の学生や専門学校生による卒業論文発表会を開催し、学生の勉学向上支援と、情報産業界、教育界、官公庁間の連携強化を図った事業を展開しています。

本発表会は、官庁、学校、産業界の連携に効果を発揮していますが、副次的に、普段交流の機会がない大学間の交流を促進するという効果も出ています。令和元年度は、千葉県、千葉県地域IT化推進協議会、千葉市、千葉市科学フェスタ2019サテライトイベントの後援を得て、2月19日に開催しました。(参加者計43名—教員6名、学生10名、官公庁3名、企業24名)なお、発表校は以下のとおりです。

東京情報大学、東邦大学、日本大学、船橋情報ビジネス専門学校
(参加校数・発表者数：4校、6名)

発表会では専門分野の研究成果が発表され、発表内容に対する質疑やコメントが各校の教官や学生から多数出され活発な討議が行われました。発表内容は企業の関心を集めた実務的なものもあり、有意義な発表会となりました。会場からは、今回の発表者のプレゼン技術が極めて向上していると賞賛の声があがり、発表者全員に当協会会長からその榮譽を称え表彰状が授与されました。

C. 視察ツアー

今年度は、「IOT千葉県内酵母産業の現況視察ツアー」と銘打って、3月26日の実施を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、やむを得ず中止しました。多くの方々を落胆させる結果となってしまいましたが、次の機会のご参加をお待ちしています。

本事業は、他業態の実態を肌で体験しIT推進に活かす目的で実施しており、「農業の実情把握」「漁業の実情把握」「オーガニックと地域活性化の現況把握」ツアーに続く第4回目の企画として準備されていたものです。

(2) 情報化に関する普及啓発及び促進に関する事業

令和元年度は次の事業を実施しました。

①情報システムの普及推進支援事業

A. ちばIT利活用フォーラム(11月20日)

千葉県地域IT化推進協議会との共催で開催し、官公庁、当協会会員企業、会員外企業等の方々総勢76名が参加されました。

なお、今回は次項の「千葉県内中小企業向けビジネス交流会」と同時開催となりました。当日の本フォーラムの講演テーマは以下のとおりです。

なりました。当日の本フォーラムの講演テーマは以下のとおりです。

- a. 県民の暮らしを豊かにする千葉県ICT利活用戦略の策定について
- b. 5G活用の可能性について
- c. 企業・行政・NPO・市民の共同で進めるまちづくり

B. 千葉県内中小企業向けビジネス交流会

千葉県内中小企業のIT化を支援する目的で、当協会会員企業による「ITの展示会」と「セミナー」を開催しました。

出展企業を当協会会員に絞った展示会は、初めての試みとなるため、当協会の1大イベントとして位置づけ、周到な企画打合せの下、各界のご協力とご支援を受け、成功裡に開催することができました。

「展示会」と併行して実施した「セミナー」は、本ビジネス交流会が主催するものと、前項記載の「ちばIT利活用フォーラム」主催のものとの同時開催し、多くの方々にご参加いただきました。

本ビジネス交流会は、県内中小企業向けのイベントでしたが、ご来場いただきました中小企業の方々との交流はもちろんですが、その他に会員企業間の深耕を図るといった副次効果も生まれました。

当日いただいたご意見やアンケート結果によりますと、本開催内容は好評で、次回の継続開催を望む声が多く寄せられました。

【開催概要】

- ・開催目的 千葉県内中小企業に対するIT化支援を推進し、併せて、千葉県内中小企業との交流・出会い深め、当該企業各社の事業の効率化・収支構造の改善を目指す
- ・開催日時 令和元年11月20日（水）10：00～16：30
- ・開催場所 エムベイポイント幕張 2階セミナールーム
- ・開催内容 展示会（出展ブース数：会員企業24社27ブース）
セミナー（5講座）：千葉県地域IT化推進協議会と共催
 - ・2講座：本ビジネス交流会主催
 - ・3講座：千葉県地域IT化推進協議会主催
- ・来場者数 400名（概数） 参加費、無料
- ・後援 9先（経済産業省関東経済産業局、総務省関東総合通信局、千葉県、（一社）千葉県商工会議所連合会、（一社）千葉県商工会連合会、（株）ベイエフエム、（株）千葉日報社、千葉市、（公財）千葉市産業振興財団）

- ・協賛 9社 ((株)千葉銀行、(株)京葉銀行、(株)千葉興業銀行、東日本電信電話(株)、(株)日立製作所千葉支店、富士通(株)千葉支社、(株)ジーウェイブ、(学法)船橋情報ビジネス専門学校、ミツイワ(株))
- ・集客方法 ポスター・チラシ配付、HP掲載、関連業界団体会報等へのチラシ折込、新聞広告掲載、地元放送局を利用したPR、プレスリリース、SNS発信の活用

【事業の成果】

- ・地域、県内中小企業等への事業効果
 - ・開催目的は、来場された中小企業経営者の方々と出展各社との交流を通し達成。
 - ・来場された中小企業経営者は、本ビジネス交流会への参加を機に、IT化に対する関心がさらに高まり、各社のIT化推進の動機づけができた。
 - ・経済の観点においても、地域経済活性化に貢献ができた。
- ・今後の計画、目標
 - ・ITの技術進展は目まぐるしく、引き続き県内中小企業に対し、IT化推進のための不断の支援をしていく。
 - ・事業効果も出ており、改善箇所の整理・見直しを行い、次年度以降も開催する。

C. ロボット・カー 親子プログラミング教室

前年度に引き続き、小学校高学年生を対象とした「親子プログラミング教室」を令和2年2月29日に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止しました。

今年度は、会場を船橋とし、21組の方に参加いただく予定でした。当日は、希望者に「ロボット・カーと講習会資料」を講習会参加費用額で頒布したところ16名の方が来訪購入され、講習会への人気度合を再確認しました。(注：講習会参加費は、ロボット・カー市販額の半額以下で設定)

本事業は、地域社会へのIT普及と学校のIT学習導入を踏まえ、小学校高学年生のレベルに合わせ、専用プログラムを利用し、教材の「ロボット・カー」を走行させるプログラミング学習で、実際にプログラムを組み「ロボット・カー」が直進・後退・進路変更等を行う様子を体験するもので、親子が参加するものでした。

② 情報システム活用啓蒙推進事業

A. 講演会・セミナー等の開催

(ア) 「賀詞交歓会講演会」の開催

賀詞交歓会開催に併せて講演会を開催しました。

当日は、オリンピック開催年に合わせ、元TBSアナウンサーの松下賢次氏を講師にお迎えし、「オリンピック放送の歴史～現場秘話と面白ばなし」をテーマにご講演していただきました。(講演概要は、当協会チサ・ジャーナル42号をご覧ください。)(参加者数：147名)

(イ) 工場向け「ワイヤレスIOT講習会」の後援

総務省関東総合通信局と千葉県が主催する本講習会は、工場等の管理者・利用者向けに、ワイヤレスIOT導入・運用に必要な無線の基礎知識、IOT活用方法、導入・運用手順、トラブル時の解決方法等を、実機演習を行ないながら習得させる内容のもので、同省が千葉県内で実施した初の試みでした。

当協会は当初から、総務省の要請に応じ千葉県担当部署を交え、開催企画に携わっていた経緯があるため、経済産業省関東経済局等とともに本講習会を「後援」しました。

当講習会は千葉市内で1月28日に開催されましたが、参加希望者が募集枠30社を大幅に超える盛況でした。なお、魅力ある講習会内容であったため、当協会会員も複数社が参加されました。

B. 広報活動

(ア) 広報誌「CHISAジャーナル」

第41号(総会号)と第42号(新年号)を発刊しました。

新年号の表紙は、協会が未来に向かって羽ばたくことをイメージし、千葉県の名所である「鋸山の地獄覗き」を掲載しました。

大空に突き出た「地獄覗きの形状と、大空のコントラスト」の構図を味わっていただければ幸いです。

なお、裏表紙には、協会スローガンをポスターにしたものを掲載し、当協会の結束力を表現しましたので、併せてご覧いただきたいと思えます。

(イ) 協会活動報告「協会だより」

当協会は、協会活動を会員と地域の方々にも知っていただく目的で、「協会だより」を作成しホームページに掲載・発信しています。

本協会だよりは、理事会開催の都度作成し、理事会の審議内容や協会組織である各部会の活動状況をお知らせしています。
令和元年度の発信回数は6回となりました。

(3) 情報サービスの人材育成及び確保に関する事業

令和元年度は次の事業を実施しました。

①情報サービスの人材育成に関する事業

A. CHISA実践型新人社員研修（実践型人材養成システム）の実施

新人社員を対象とした研修で、「CHISA実践型新人研修実行委員会」が中心となって教育訓練機関と連携し実施しています。

本事業は12年の実績があり、研修受講生間の同期意識が強化され、他企業にも友人ができるという副次的な効果も出ており、毎年好評を得ています。令和元年度の受講者数は17社、70名でした。

B. 新技術調査研究会の活動

会員企業若手技術者の育成と参加者の企業間交流を主目的とした事業です。

年度初めに参加者を募り、チーム編成後、新技術の動向に関する研究テーマに基づき共同研究を行い、年度末に開催する「成果発表会」で1年間研究した成果を発表する内容となっています。

本年度は、前述した「千葉県内大学による卒業論文発表会」と同じく、2月19日に同一場所で開催しました。

本活動は、令和元年度で17年目となり発表者は4チーム（7社、13名）、参加者は35名となりました。

令和元年度の研究テーマは、以下のとおりでした。

a. Aチーム：Internet of Things

～IOTを用いた開発体験～

b. Bチーム：RPAについて

c. Cチーム：画像処理—顔認証—

d. Dチーム：MRの活用～HoloLensの展望について～

本年度も、業務を抱えながら忙しい時間を割いて研究調査した成果が実った素晴らしい発表が行われました。

前年度から導入された評価制度に基づき、当協会会長からBチームの各人に「最優秀賞」、その他チームの各人に「優秀賞」が授与されました。

なお、本発表会は午前中に実施されましたが、午後から開催された卒業論文発表会に参加した学生や教官に交じり、本発表会参加した若手社員も参加し、学生の発表内容に感銘を受けながら、質問やアドバイスを行っていった姿が印象的でした。

また、終了に開催された合同懇親会で、新技術調査研究会の若手社員と卒業論文発表会の学生・教官、及び会員が一緒になりで交流を深め合いました。

C. 技術研修会の開催

前年に引き続き、技術者育成のための研修「CHISA情報通信人材研修」を技術系、業務系、管理系、ヒューマンスキル系の4分野に亘って開催し、計22コース、延べ205名の受講がありました。

当研修会は、当協会の重要事業の一つとして実施しておりますが、毎年好評で、若手社員を中心に技術スキルアップのため活用されています。

②情報サービスの人材確保に関する事業

A. インターンシップ・マッチング会

インターンシップ事業を実施し、学生の企業就労体験を支援しています。本事業は令和元年度で19年目を迎えていますが、毎年参加を希望する学生が多いため学生と会員企業間で希望内容を調整するマッチング会を開催し参加者を決定しています。

令和元年度は、6月13日に開催しました。今回は、学生の職業体験期間を前回迄の10日間のみという制約を外し、企業と学生の間で任意に設定できるように変更しました。

この結果、体験期間が、1日、2日間、5日間、10日間とバラエティに富んだ内容になりましたが、マッチング実績は前回とほぼ同数となりました。(実績：会員企業8社が5校26名の学生を受け入れ)

(4) 情報サービス産業の経営基盤の確立整備に関する事業

令和元年度は次の事業を実施しました。

①経営基盤の確立に関する調査、研究事業

A. 学生向け合同企業説明会の開催

学生向けの会社説明会を官公庁・他業態と共同で開催しました。当協会会員企業の参加数は33社となり、幕張会場で2月21日に開催しました。ブース配置は好評であった前回から変更した「分散方式」で実施しました。分散方式は、学生との接点が増えたと

して概ね好評でした。今後の方向性を確認するため、現在、参加企業の方々の感想を把握すべくアンケートを実施しています。

(来場者：88社553名)

また、参加企業は例年どおり県内理系大学の学内就職説明にも参加しましたが、年々、学校による選別が厳しくなる状況にあります。

本年度は、参加できた学校は、東京情報大、船橋情報ビジネス専門学校の2校と減少しました。

②会員の福利厚生向上に関する事業

A. CHISA総合共済制度（別法人、「なのはな共済会」が運営）

なのはな共済会制度は、発足してから令和元年度で19年目を迎えますが、この間、共済会の加入者に充実した保障と各種福利厚生サービスを提供し、加入企業のニーズに応じています。

組織は別法人の形を取っていますが、共済会会員の加入条件が当協会会員とされてため、共済会運営委員会に当協会員も参画しそのサービス充実のために積極的な支援を行っています。

(5) 情報サービス産業の振興に係る国内外との交流及び連携促進に関する事業

令和元年度は次の事業を実施しました。

①会員間、関連外部団体との交流・連携

A. 会員企業懇親会

部会等の活動組織は部会内での交流が盛んですが、部会の枠に捉われず、広い分野での会員企業間交流を深める目的で毎年開催しています。令和元年度は11月13日に34社56名の参加を得て実施しました。

B. スポーツ大会等

前年度に引き続き、会員交流を目的としたスポーツ大会を開催しました。実施内容は以下のとおりです。

a. 軟式野球大会（5月～10月、4チーム）

※雨に祟られ、対戦回数が1回での終了を余儀なくされました。

b. フットサル3情産協団体対抗頂上戦（7月13日）

c. CHISAフットサル大会（6月8日、19チーム）

C. 「公益財団法人千葉市産業振興財団開催セミナー」の後援

千葉市産業振興財団が実施するビジネスプラン発表会「第18回ベンチャー・カップCHIBA」を後援し、同財団との交流促進に努めました。

(開催日) 令和元年11月20日

(会場) 三井ガーデンホテル千葉 (参加数) 169名

D. 他県協会との交流会の開催

東京、神奈川、埼玉、山梨、福島、茨城、千葉の情報サービス産業協会7団体で組織する「広域首都圏情報団体連絡協議会(略称:メトロ)」に参加し、情報交換等とおして当協会の発展に寄与しました。

なお、令和元年度の行事は下記日程で実施されました。

・事務局会議開催日: 7月5~6日、11月27日

・幹部会議開催日: 3月6日

・メトロエリアグリーンゴルフ大会: 9月20日

※埼玉情産協が幹事となり、5団体55名(注)が参加して霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催されました。

(注)参加者内訳: 東京13、神奈川10、埼玉12、山梨9、千葉11。

②官庁等との交流・連携

官公庁等との交流、連携をとおり、下記の受託事業・助成金事業を実施する他、関係する委員会のメンバーとして参画し活動しました。

A. 千葉県委託事業「中小製造業向けスマート化推進事業」

当協会は入札資格を取り、平成31年4月1日より、千葉県委託事業「中小製造業向けスマート化推進事業」業務を受託し、本年3月31日迄の1年間、その事業を展開し所期の目的を達成することができました。今回受託した業務内容別の実施状況は以下とおりです。

・IoT活用セミナーの開催

・千葉商工会議所で開催 計2回

・実習講座及び相談会の開催

・(実習講座) 柏商工会議所、浦安鉄鋼団地、佐倉市スマートオフィスプレイス、茂原市役所、松戸市役所 計5回

- ・(相談会) 柏商工会議所、浦安鉄鋼団地、佐倉市
スマートオフィスプレイス、茂原市役
所、松戸市役所 計5回

- ・ITスキルアップ講習会の開催

- ・柏商工会議所、浦安鉄鋼団地、佐倉市スマートオフィ
スプレイス、茂原市役所、松戸市役所 計5回

- ・専門家派遣による支援 計22件

- ・IoT等ワンストップ窓口の設置

- ・セミナー、相談会申込等でも数多くの利用実績がある。
(概数40件)

B. 人材確保等支援助成金(中小企業団体コース)事業

当協会は、本年度、千葉労働局から助成金を受け入れ、人材確保事業を実施しました。業務概要、以下のとおりとです。

- ・人材確保に関するセミナーの開催
- ・人材育成等に関する各種相談受付
- ・人材確保等に関する広報誌、ポスター等を利用した啓蒙
- ・合同企業説明会支援等の人材確保支援策の実施

C. スマート化推進会議(主催:千葉県産業振興課)

IoT活用、推進に関する関連団体の連携会議

D. 産官学連携支援機関連携会議(主催:千葉県産業振興課)

地域未来投資促進法に係る関係機関の連絡会議

(人を中心としたICT利活用推進等を目的とする)

E. 千葉県地域IT化推進協議会(主催:千葉県政策企画課)

千葉県のIT化を推進するため産官学で構成された協議会

F. 千葉県ICTアドバイザー会議(主催:千葉県政策企画課)

千葉県のICT戦略検討会議

G. 千葉県男女共同参画推進連携会議(主催:千葉県男女共同参画課)

千葉県の男女共同参画を推進する会議

H. 高度職業能力開発促進センター運営協議会

高度職業能力開発促進センターの運営、助言を行う協議会

③加盟外部団体等

令和元年度は下記団体に加盟して活動する他、収集した情報を活用して当協会の発展に寄与しました。

- A. 情報サービス産業協会（J I S A）
- B. 全国地域情報産業団体連合会（A N I A）
- C. 広域首都圏情報団体連絡協議会（メトロ）
- D. 千葉県地域 IT 化推進協議会
- E. 首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議
- F. 千葉社会保険協会

以 上